



平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月10日

上場会社名 ブックオフコーポレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3313 URL <https://www.bookoff.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 田村 健一 TEL 042-750-8588
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月23日 配当支払開始予定日 平成30年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	80,049	△1.6	613	426.6	1,092	85.6	△889	—
29年3月期	81,344	6.2	116	—	588	—	△1,159	—

(注) 包括利益 30年3月期 △820百万円 (—%) 29年3月期 △1,212百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	△43.31	—	△6.5	2.2	0.8
29年3月期	△56.41	—	△7.7	1.2	0.1

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 △2百万円 29年3月期 △6百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	47,888	13,307	27.5	640.77
29年3月期	51,047	14,242	27.9	693.15

(参考) 自己資本 30年3月期 13,166百万円 29年3月期 14,242百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	2,668	△940	△3,394	13,860
29年3月期	1,965	△2,054	224	15,268

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	—	—	10.00	10.00	205	—	1.4
30年3月期	—	—	—	10.00	10.00	205	—	1.5
31年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00		102.8	

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,500	0.6	800	30.3	1,200	9.8	200	—	9.73

(注) 当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期	22,573,200株	29年3月期	22,573,200株
② 期末自己株式数	30年3月期	2,025,785株	29年3月期	2,025,782株
③ 期中平均株式数	30年3月期	20,547,417株	29年3月期	20,547,418株

(参考) 個別業績の概要

平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	65,619	△4.4	963	214.8	1,349	82.5	△533	—
29年3月期	68,617	4.1	306	—	739	255.5	△2,681	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	△25.97	—
29年3月期	△130.49	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	47,521	12,865	27.1	626.12
29年3月期	49,601	13,579	27.4	660.86

(参考) 自己資本 30年3月期 12,865百万円 29年3月期 13,579百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(連結財務諸表作成の基本となる重要な事項)	15
(連結貸借対照表関係)	16
(連結損益計算書関係)	16
(連結包括利益計算書関係)	17
(セグメント情報等)	18
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは『ものを捨てたくない人が、捨てない生活をするためのインフラとしての役割を果たすブックオフ』＝『捨てない人のブックオフ』を事業ミッションに掲げ、「ご家庭で不要となったものを、新しい持ち主のために役立てる」という「リユース業」を中核事業とし、書籍・CD・DVD・ゲーム・家電・アパレル・スポーツ用品・ベビー用品・雑貨など様々なジャンルのリユースを通じて循環型社会の実現に取り組んでおります。

グループ経営理念の実現とさらなる事業成長を遂げるため、『グループの総合力を活かした仕入の最大化』、『店舗並びにインターネットを通じて最大の販売効率の追求』の2つの方針に基づき、継続的な事業成長を実現してまいります。

当連結会計年度は、持続可能な成長に向けた取り組みを実施できる状態になるために、「リユース店舗事業の収益力強化」及び「ハグオール事業の抜本的改革」の2点を重点施策として経営戦略を進めてまいりました。

「リユース店舗事業」では、国内を5つの地域営業部で運営することにより、新規商材の追加とネット販売の活用について1つ1つの店舗の状況に応じて変化させることに加え、各店における店舗運営力を高めることで収益力を向上させてまいりました。このような経営方針の下、「BOOKOFF」を中心に様々なリユース商材を集めた大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と「BOOKOFF」にアパレル商材を複合させた「BOOKOFF PLUS」を当社グループの中核パッケージとして出店とリニューアルの促進をはかり、当連結会計年度において、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を3店舗出店しました。また、「BOOKOFF」単独店から「BOOKOFF PLUS」へのリニューアルを2店舗実施しました。

一方「ハグオール事業」では、催事販売「東京古着」の撤退や「ブックオフオンライン事業」との機能統合などを実施し収益化を目指してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高80,049百万円（前連結会計年度比1.6%減）、営業利益613百万円（前連結会計年度比426.6%増）、経常利益1,092百万円（前連結会計年度比85.6%増）、親会社株主に帰属する当期純損失889百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失1,159百万円）となりました。

「リユース店舗事業」において早期の黒字化が見込めない大型複合店の減損損失や不採算店舗の店舗等閉鎖損失及び店舗等閉鎖損失引当金を計上しました。「ハグオール事業」において、当連結会計年度に営業損失を計上したことから、㈱ハグオールが保有する固定資産について減損損失を計上しました。また、繰越欠損金を有する㈱ハグオールの収益が想定を下回ったことで法人税等の負担率が当初の想定を上回りました。その結果、当連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

(リユース店舗事業)

当セグメントの当連結会計年度業績は、売上高70,565百万円（前連結会計年度比0.8%減）となりました。

当連結会計年度の出店は、グループ直営店13店舗、FC加盟店2店舗となりました。また閉店はグループ直営店14店舗、FC加盟店18店舗（同一建物内の複数店舗を1つの屋号に統合したことによる閉店1店舗を含む）となりました。

当連結会計年度より開始した地域別営業部による運営体制のもと、「BOOKOFF」既存店において、地域特性に見合った商材・売場作り、店舗商品のヤフオク!によるネット販売、買取及び販売機能向上のため店舗パートアルバイトスタッフの教育研修を積極的に推進しました。新規大型複合店の出店及び㈱ブックオフウィズの子会社化等を実施した一方で、既存店の書籍、ソフトメディア、アパレル等の売上高が減少したこと等により、減収となりました。

(ブックオフオンライン事業)

当セグメントの当連結会計年度業績は、売上高6,140百万円（前連結会計年度比5.9%減）となりました。

前連結会計年度に引き続き、顧客データ活用によるECサイト改善等を推進した他、第1四半期連結会計期間よりヤフーショッピングを、第3四半期連結会計期間よりアマゾン販売チャネルに加えることで、売上拡充を推進しました。しかしながら、書籍の売上が減少したこと等により、減収となりました。

(ハグオール事業)

当セグメントの当連結会計年度業績は、売上高2,071百万円（前連結会計年度比7.7%減）となりました。

前連結会計年度に引き続き、東京23区内を中心にした訪問買取サービスに加え、複数の百貨店内での「総合買取ご相談窓口」の運営等、積極的な買取施策を推進しました。また、ブックオフオンライン事業との運営統合による業務の効率化を実施しました。しかしながら、催事販売「東京古着」を撤退したことで、減収となりました。

（その他）

当セグメントの当連結会計年度業績は、売上高1,272百万円（前連結会計年度比10.8%減）となりました。
当連結会計年度の閉店は、グループ直営店1店舗となりました。

【業績推移】

（単位：百万円）

	2017/3期 (平成29年3月期)	2018/3期 (平成30年3月期)
売上高	81,344	80,049
リユース店舗事業	71,150	70,565
店舗売上	68,468	68,261
FC等収入	2,682	2,303
ブックオフオンライン事業	6,522	6,140
ハグオール事業	2,244	2,071
その他	1,426	1,272
営業利益	116	613
経常利益	588	1,092
特別利益	28	59
特別損失	755	1,250
税金等調整前当期純損失	△137	△98
親会社株主に帰属する当期純損失	△1,159	△889

（百万円未満切捨て）

【セグメント別出退店推移】

（参考情報：セグメント別出退店）

（単位：店）

		2017/3期 (平成29年3月期)		2018/3期 (平成30年3月期)	
		出店	退店	出店	退店
リユース店舗事業	グループ	(注1) 10	(注2) 11	(注4) 13	14
	FC加盟店	2	(注3) 27	2	(注5) 18
その他	グループ	-	-	-	1
	FC加盟店	-	-	-	-
出退店合計	グループ	10	11	13	15
	FC加盟店	2	27	2	18
期末店舗数	グループ	388		386	
	FC加盟店	455		439	

（注1）フランチャイズ加盟企業から譲受けしたBOOKOFF 1店舗を含んでおります。

（注2）同一建物内の複数店舗を1つの屋号に統合したことによる閉店1店舗を含んでおります。

（注3）同一建物内の複数店舗を1つの屋号に統合したことによる閉店8店舗及び、当社が譲受けしたBOOKOFF 1店舗を含んでおります。

（注4）フランチャイズ加盟企業から譲受けしたBOOKOFF 9店舗を含んでおります。

（注5）同一建物内の複数店舗を1つの屋号に統合したことによる閉店1店舗及び、当社が譲受けしたBOOKOFF 9店舗を含んでおります。

次期(平成31年3月期)の見通し

(全般的見通し)

平成31年3月期は、リユース店舗事業の収益安定化ならびにブックオフオンライン事業と融合した百貨店買取窓口のてこ入れを基本方針として、チェーン共通の基盤・サービスを整備・活用し、各セグメントにおいて将来にわたるグループの企業価値向上に向けて積極的なアクションを進めてまいります。

(リユース店舗事業)

当連結会計年度より開始した地域別営業部による運営体制で、地域特性に応じた機動的な運営、ローコスト運営の徹底、人時生産性の向上など既存店舗の磨きこみを継続し、収益体質の更なる改善を図ります。

また、引き続き大型店舗の新規出店を抑制し、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」は2～3店舗のみの出店にとどめ、BOOKOFF店舗での総合買取窓口の設置等、既存店に対して小規模の投資を継続するとともに、不採算店舗の閉店も推進し、収益体質の改善を図ります。

なお、新規出店店舗の寄与や新買取サービス「カウマエニーク」対応店舗の増加などにより、当セグメントの売上高は増加する見通しです。

(ブックオフオンライン事業) (注1)

ハグオール事業との運営統合ならびにグループ内における物流機能の統合により、グループ運営の効率化を図るとともに、店舗との連携強化などの取り組みを進めてまいります。

物流センターの安定稼働と経費節減を推進するとともに、ハグオール事業において運営していた百貨店内買取窓口との連携を実施する一方で、同じくハグオール事業において運営していた催事販売「東京古着」を当連結会計年度内で全て撤退することなどにより、当セグメントの売上高は減少する見通しです。

連結業績は売上高80,500百万円、営業利益800百万円、経常利益1,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円の見通しです。

【連結業績見通し】

(単位：百万円)

	平成30年3月期 実績	平成31年3月期 見通し	増減額	増減率(%)
売上高	80,049	80,500	450	0.6
(リユース店舗事業)	70,565	72,000	1,434	2.0
(ブックオフオンライン事業) (注2)	8,211	7,400	△811	△9.9
(その他)	1,272	1,100	△172	△13.6
営業利益	613	800	186	30.3
経常利益	1,092	1,200	107	9.8
親会社株主に帰属する当期純利益(損失)	△889	200	1,089	—

(百万円未満切捨て)

(注1) ブックオフオンライン事業との運営統合に伴い、平成31年3月期よりハグオール事業の報告セグメントを廃止いたします。

(注2) 平成30年3月期実績はブックオフオンライン事業とハグオール事業の合算値です。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当連結会計年度における流動資産の残高は31,430百万円（前連結会計年度末は32,567百万円）となり、1,137百万円減少しました。商品が334百万円増加した一方で、現金及び預金が1,407百万円減少したことが主な要因です。

（固定資産）

当連結会計年度における固定資産の残高は16,458百万円（前連結会計年度末は18,479百万円）となり、2,021百万円減少しました。店舗閉鎖や減損損失計上等で有形固定資産が1,334百万円減少、㈱ブックオフウィズとBOK MARKETING SDN. BHD. の連結子会社化により関係会社株式が減少したこと等で投資その他の資産が569百万円減少、ソフトウェア償却、のれん償却等で無形固定資産が117百万円減少したことが主な要因です。

（負債）

当連結会計年度における負債残高は34,580百万円（前連結会計年度末は36,804百万円）となり、2,224百万円減少しました。買掛金が109百万円増加した一方で、銀行借入金の返済により借入金が2,508百万円減少したことが主な要因です。

（純資産）

当連結会計年度における純資産残高は13,307百万円（前連結会計年度末は14,242百万円）となり、934百万円減少しました。㈱ブックオフウィズとBOK MARKETING SDN. BHD. の連結子会社化により非支配株主持分が141百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する当期純損失の計上や剰余金の配当の実施により利益剰余金が1,142百万円減少したことが主な要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,407百万円減少し13,860百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は2,668百万円（前連結会計年度は1,965百万円増加）となりました。これは、税金等調整前当期純損失が98百万円でしたが、減価償却費1,807百万円、減損損失1,103百万円、のれん償却額88百万円、売上債権の減少144百万円、店舗等閉鎖損失引当金の増加90百万円等により資金が増加した一方、法人税等の支払額735百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は940百万円（前連結会計年度は2,054百万円減少）となりました。これは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得503百万円、システムへの追加投資等による無形固定資産の取得534百万円、差入保証金の増加150百万円があった一方、閉店等による差入保証金の減少426百万円があったことが主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は3,394百万円（前連結会計年度は224百万円増加）となりました。これは借入金の純額が2,710百万円減少、配当金の支払額205百万円、リース債務の返済による支出411百万円により資金が減少したことが主な要因です。

〈自己資本比率、時価ベースの自己資本比率、債務償還年数、インタレスト・カバレッジ・レシオの推移〉

	2016/3期 (平成28年3月期)	2017/3期 (平成29年3月期)	2018/3期 (平成30年3月期)
自己資本比率 (%)	31.6	27.9	27.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	36.3	31.8	35.7
債務償還年数 (年)	42.4	13.7	9.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	3.3	10.6	15.8

- (注) 自己資本比率 (%) : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 (%) : 株式時価総額/総資産
 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 債務償還年数 (年) : 有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー
 有利子負債は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、長期未払金、1年内償還予定の新株予約権付社債の合計と
 しております。
 インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) : 営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分を経営の最重要事項の1つと認識しております。

連結純利益に対する配当性向は25%程度を目処とする方針です。

当社は業績向上を通じた増配を目指しつつ、内部留保については、財務体質の強化と将来の事業基盤強化につながる戦略的投資に対して有効に活用してまいりたいと考えております。

当連結会計年度（平成30年3月期）の配当金は、1株当たり当期純損失が43.31円となりましたが、期初計画のとおりに1株当たり10円といたします。

次期（平成31年3月期）の配当金につきましては1株当たり10円に据え置きといたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,268,310	13,860,355
受取手形及び売掛金	1,617,922	1,488,764
商品	12,614,825	12,949,201
貯蔵品	38,408	31,063
繰延税金資産	743,896	667,977
その他	2,289,449	2,434,586
貸倒引当金	△4,906	△1,761
流動資産合計	32,567,906	31,430,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,948,458	15,536,286
減価償却累計額	△11,028,106	△11,505,998
建物及び構築物(純額)	4,920,351	4,030,287
土地	141,643	175,299
リース資産	3,340,799	2,682,015
減価償却累計額	△1,416,639	△1,094,520
リース資産(純額)	1,924,159	1,587,494
建設仮勘定	—	698
その他	3,189,800	3,285,589
減価償却累計額	△2,330,899	△2,568,331
その他(純額)	858,901	717,257
有形固定資産合計	7,845,056	6,511,038
無形固定資産		
のれん	268,447	138,218
リース資産	11,108	7,151
その他	1,141,508	1,158,310
無形固定資産合計	1,421,064	1,303,680
投資その他の資産		
投資有価証券	655,307	388,892
長期貸付金	22,126	11,062
繰延税金資産	178,335	172,226
差入保証金	8,186,531	7,940,492
その他	261,284	205,379
貸倒引当金	△90,281	△74,458
投資その他の資産合計	9,213,303	8,643,594
固定資産合計	18,479,423	16,458,313
資産合計	51,047,330	47,888,501

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	343,217	452,354
短期借入金	6,539,191	5,386,680
1年内返済予定の長期借入金	3,664,791	4,966,884
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	7,700,000
リース債務	389,489	388,181
未払法人税等	767,005	666,342
賞与引当金	282,460	298,246
売上割戻引当金	630,262	680,369
株主優待引当金	64,297	90,683
店舗等閉鎖損失引当金	49,919	55,389
未払金	2,091,287	1,878,230
その他	1,814,487	2,187,209
流動負債合計	16,636,409	24,750,570
固定負債		
新株予約権付社債	7,700,000	—
長期借入金	8,925,930	6,268,059
リース債務	1,573,967	1,306,364
店舗等閉鎖損失引当金	—	35,087
資産除去債務	1,573,962	1,785,050
その他	394,550	435,636
固定負債合計	20,168,409	9,830,197
負債合計	36,804,818	34,580,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,652,394	3,652,394
資本剰余金	4,187,003	4,192,922
利益剰余金	7,747,457	6,605,076
自己株式	△1,260,826	△1,255,575
株主資本合計	14,326,028	13,194,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,057	81,345
為替換算調整勘定	△136,574	△110,021
その他の包括利益累計額合計	△83,516	△28,676
非支配株主持分	—	141,592
純資産合計	14,242,511	13,307,733
負債純資産合計	51,047,330	47,888,501

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
売上高	81,344,039	80,049,760
売上原価	34,164,454	33,054,989
売上総利益	47,179,585	46,994,770
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	629	△16,974
給料及び手当	4,811,640	4,911,511
パート・アルバイト給与	12,923,884	12,397,502
賞与	526,048	520,288
賞与引当金繰入額	277,704	298,466
株主優待引当金繰入額	64,297	84,690
退職給付費用	32,229	32,412
地代家賃	11,657,021	11,908,705
賃借料	750,993	667,639
その他	16,018,587	15,576,789
販売費及び一般管理費合計	47,063,038	46,381,030
営業利益	116,547	613,740
営業外収益		
自動販売機等設置料収入	143,252	127,922
古紙等リサイクル収入	381,645	375,826
その他	215,945	278,995
営業外収益合計	740,843	782,744
営業外費用		
支払利息	186,311	170,136
持分法による投資損失	6,428	2,282
設備賃貸原価	4,883	67,440
その他	70,807	63,766
営業外費用合計	268,431	303,626
経常利益	588,959	1,092,858
特別利益		
移転補償金	—	36,000
負ののれん発生益	—	20,476
投資有価証券売却益	28,752	2,682
特別利益合計	28,752	59,158
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,322
店舗等閉鎖損失	15,419	33,784
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	49,927	90,476
固定資産除却損	25,910	21,085
減損損失	※ 650,355	※ 1,103,570
災害による損失	13,619	—
特別損失合計	755,233	1,250,241
税金等調整前当期純損失（△）	△137,521	△98,223
法人税、住民税及び事業税	706,787	675,484
法人税等調整額	314,803	107,814
法人税等合計	1,021,591	783,299
当期純損失（△）	△1,159,113	△881,522
非支配株主に帰属する当期純利益	—	8,451
親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△1,159,113	△889,974

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
当期純損失（△）	△1,159,113	△881,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,102	24,529
為替換算調整勘定	△26,987	32,836
持分法適用会社に対する持分相当額	1,934	3,669
その他の包括利益合計	※ △53,155	※ 61,034
包括利益	△1,212,268	△820,487
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△1,212,268	△831,084
非支配株主に係る包括利益	—	10,596

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,652,394	4,187,003	9,420,256	△1,260,826	15,998,827
当期変動額					
連結範囲の変動					
剰余金の配当			△513,685		△513,685
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△1,159,113		△1,159,113
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△1,672,798	－	△1,672,798
当期末残高	3,652,394	4,187,003	7,747,457	△1,260,826	14,326,028

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	79,226	△109,587	△30,361	15,968,465
当期変動額				
連結範囲の変動				
剰余金の配当				△513,685
親会社株主に帰属する当期純損失（△）				△1,159,113
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△26,168	△26,987	△53,155	△53,155
当期変動額合計	△26,168	△26,987	△53,155	△1,725,954
当期末残高	53,057	△136,574	△83,516	14,242,511

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,652,394	4,187,003	7,747,457	△1,260,826	14,326,028
当期変動額					
連結範囲の変動		5,918	△47,024	5,253	△35,851
剰余金の配当			△205,382		△205,382
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△889,974		△889,974
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	5,918	△1,142,381	5,250	△1,131,211
当期末残高	3,652,394	4,192,922	6,605,076	△1,255,575	13,194,817

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	53,057	△136,574	△83,516	—	14,242,511
当期変動額					
連結範囲の変動					△35,851
剰余金の配当					△205,382
親会社株主に帰属する当期純損失（△）					△889,974
自己株式の取得					△2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	28,287	26,553	54,840	141,592	196,432
当期変動額合計	28,287	26,553	54,840	141,592	△934,778
当期末残高	81,345	△110,021	△28,676	141,592	13,307,733

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失（△）	△137,521	△98,223
減価償却費	2,033,564	1,807,986
減損損失	650,355	1,103,570
のれん償却額	106,032	88,005
負ののれん発生益	—	△20,476
賞与引当金の増減額（△は減少）	10,196	8,772
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△382	△16,974
店舗等閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	49,927	90,476
売上割戻引当金の増減額（△は減少）	65,855	31,534
株主優待引当金の増減額（△は減少）	64,297	26,385
支払利息	186,311	170,136
持分法による投資損益（△は益）	6,428	2,282
店舗等閉鎖損失	15,419	33,784
投資有価証券評価損益（△は益）	—	1,322
固定資産除却損	25,910	21,085
災害損失	13,619	—
移転補償金	—	△36,000
売上債権の増減額（△は増加）	△192,352	144,318
たな卸資産の増減額（△は増加）	△333,179	19,059
仕入債務の増減額（△は減少）	△56,810	96,570
未払金の増減額（△は減少）	114,126	△164,450
その他	37,602	214,044
小計	2,659,403	3,523,211
利息及び配当金の受取額	10,713	8,479
利息の支払額	△186,253	△168,672
移転補償金の受取額	—	36,000
災害損失の支払額	△8,362	—
法人税等の還付額	11,267	4,264
法人税等の支払額	△521,308	△735,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,965,460	2,668,067

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	30,372	—
有形固定資産の取得による支出	△1,761,900	△503,844
無形固定資産の取得による支出	△352,531	△534,673
差入保証金の増加による支出	△307,049	△150,620
差入保証金の減少による収入	386,146	426,062
店舗譲受による支出	△45,592	△75,546
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△20,386
その他	△3,624	△81,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,054,179	△940,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,942,146	△1,152,511
長期借入れによる収入	3,900,000	2,250,000
長期借入金の返済による支出	△4,447,812	△3,807,694
社債の償還による支出	△1,000,000	—
長期末払金の返済による支出	△103,417	△66,898
リース債務の返済による支出	△552,737	△411,368
自己株式の取得による支出	—	△2
配当金の支払額	△513,685	△205,382
非支配株主への配当金の支払額	—	△660
財務活動によるキャッシュ・フロー	224,493	△3,394,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,987	12,931
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	131,787	△1,653,923
現金及び現金同等物の期首残高	15,127,511	15,268,310
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9,011	245,968
現金及び現金同等物の期末残高	15,268,310	13,860,355

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

１．連結の範囲に関する事項

（１）連結子会社の数 12社

主要な連結子会社の名称

BOOKOFF U. S. A. INC.

ブックオフオンライン(株)

(株)ブックレット

当連結会計年度より、(株)マナスの株式を取得したため連結の範囲に含めております。また、非連結子会社でありました(株)ブックオフウィズ及びBOK MARKETING SDN. BHD. は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

さらに、連結子会社でありました(株)ハグオールを、平成30年3月21日付で連結子会社であるブックオフオンライン(株)を存続会社とする吸収合併を行ったことにより、連結の範囲から除いております。

（２）主要な非連結子会社の名称等

該当事項はありません。

２．持分法の適用に関する事項

（１）持分法を適用した関連会社の数 1社

持分法適用の関連会社名

(株)BOSパートナーズ

（２）持分法を適用していない主要な非連結子会社及び関連会社の名称等

該当事項はありません。

３．連結子会社の事業年度に関する事項

連結子会社のうち、(株)ブックレット、BOOKOFF U. S. A. INC. 及びBOOKOFF FRANCE E. U. R. L. の決算日は2月末日であります。また、SCI BOC FRANCEの決算日は12月31日であります。なお、連結財務諸表の作成にあたっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

BOK MARKETING SDN. BHD. の決算日は9月30日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、12月31日に仮決算を実施しており、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

(株)ブックオフウィズの決算日は11月30日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、2月末日に仮決算を実施しており、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

なお、当連結会計年度より新たに連結子会社となった(株)マナスは、決算日を8月末日から3月末日に変更しており、この決算日変更により、当連結会計年度は(株)マナスの平成29年6月1日から平成30年3月31日までの10ヶ月間を連結しております。

なお、上記以外は、最近の有価証券報告書（平成29年6月26日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

（連結貸借対照表関係）

※1 非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
投資有価証券（株式）	348,891千円	51,168千円

2 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行11行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
当座貸越極度額の総額	9,860,000千円	9,740,008千円
借入実行残高	3,560,004千円	4,933,344千円
差引額	6,299,996千円	4,806,664千円

（連結損益計算書関係）

※ 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

用途	種類	場所	減損損失 (千円)
店舗等	建物及び構築物等	レイクウッドセンターモール店 (アメリカ合衆国カリフォルニア州)ほか73店舗等	650,355

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当連結会計年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により、回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

その内訳は、次のとおりであります。

建物及び構築物	471,501 千円
リース資産（有形固定資産）	27,686
有形固定資産「その他」	120,373
のれん	22,572
無形固定資産「その他」	7,634
投資その他の資産「その他」	586
合計	650,355

なお、当資産グループの回収可能価額は、使用価値により測定し、将来キャッシュ・フローを8%で割り引いて算出しております。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

用途	種類	場所	減損損失 (千円)
店舗等	建物及び構築物等	ハグオール事業 物流センター (千葉県船橋市) ほか30店舗等	1,103,570

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当連結会計年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

その内訳は、次のとおりであります。

建物及び構築物	761,898 千円
リース資産（有形固定資産）	81,430
有形固定資産「その他」	120,432
のれん	77,519
無形固定資産「その他」	52,306
投資その他の資産「その他」	9,983
合計	1,103,570

なお、当資産グループの回収可能価額は、使用価値により測定し、将来キャッシュ・フローを8%で割り引いて算出しております。

（連結包括利益計算書関係）

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	△10,891千円	35,796千円
組替調整額	△28,752	—
税効果調整前	△39,643	35,796
税効果額	11,540	△11,267
その他有価証券評価差額金	△28,102	24,529
為替換算調整勘定：		
当期発生額	△26,987	32,836
組替調整額	—	—
税効果調整前	△26,987	32,836
税効果額	—	—
為替換算調整勘定	△26,987	32,836
持分法適用会社に対する持分相当額：		
当期発生額	1,951	3,592
組替調整額	△17	77
持分法適用会社に対する持分相当額	1,934	3,669
その他の包括利益合計	△53,155	61,034

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「事業活動を通じての社会への貢献」、「全従業員の物心両面の幸福の追求」を経営理念とし、中古書籍等の小売店舗「BOOKOFF」を中心に、「リユース」を切り口とした小売店舗の運営及びフランチャイズ事業を行っております。

したがって、当社グループは、取扱商品と運営形態を基礎としたセグメントから構成されており、「リユース店舗事業」、「ブックオフオンライン事業」及び「ハグオール事業」の3つを報告セグメントとしております。

「リユース店舗事業」は、「BOOKOFF」を中心に様々なリユース商材を集めた大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と「BOOKOFF」にアパレル商材を複合させた「BOOKOFF PLUS」の運営を行っており、書籍・ソフト等の他、家電・アパレル・スポーツ用品・ベビー用品・腕時計・ブランドバッグ・貴金属・食器・雑貨等の買取及び販売を行っております。また、店舗運営は、日本全国に加え、海外にて当社直営及びフランチャイズの2形式で展開しております。

「ブックオフオンライン事業」は、インターネット上で書籍・ソフト等のリユースショップ「BOOKOFF Online」の運営を行っております。

「ハグオール事業」は、店舗型のビジネスに限定しない新たなリユース業として、より幅広い商材の買取及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	ハグオール 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	71,150,780	6,522,270	2,244,571	79,917,621	1,426,418	81,344,039	—	81,344,039
セグメント間の内部売上 高又は振替高	241,730	1,431,792	3,105	1,676,628	357,872	2,034,501	△2,034,501	—
計	71,392,510	7,954,063	2,247,676	81,594,250	1,784,291	83,378,541	△2,034,501	81,344,039
セグメント利益又は 損失(△)	2,611,636	413,139	△680,645	2,344,130	△124,370	2,219,759	△2,103,212	116,547
セグメント資産	28,291,983	2,495,271	1,599,963	32,387,218	827,065	33,214,283	17,833,047	51,047,330
その他の項目								
減価償却費	1,694,128	253,300	39,036	1,986,465	7,201	1,993,667	39,897	2,033,564
のれんの償却額	98,441	—	—	98,441	7,590	106,032	—	106,032
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	2,007,808	357,096	358,399	2,723,304	131,045	2,854,350	131,493	2,985,843

(注) 1. 「その他」は、当社グループ直営の新刊書店の運営、各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工及びブックレビューコミュニティサイトの運営等を行っております。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	ハグオール 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	70,565,138	6,140,683	2,071,284	78,777,106	1,272,653	80,049,760	—	80,049,760
セグメント間の内部売上 高又は振替高	45,478	1,212,849	509,348	1,767,676	384,605	2,152,282	△2,152,282	—
計	70,610,617	7,353,532	2,580,633	80,544,783	1,657,258	82,202,042	△2,152,282	80,049,760
セグメント利益又は 損失(△)	3,419,989	232,193	△897,410	2,754,771	△114,546	2,640,225	△2,026,485	613,740
セグメント資産	28,344,764	2,485,479	—	30,830,243	720,024	31,550,267	16,338,233	47,888,501
その他の項目								
減価償却費	1,497,486	223,852	24,122	1,745,461	6,314	1,751,775	56,210	1,807,986
のれんの償却額	80,415	—	—	80,415	7,590	88,005	—	88,005
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	1,020,943	115,408	10,050	1,146,402	14,000	1,160,403	83,657	1,244,060

(注) 1. 「その他」は、当社グループ直営の新刊書店の運営、各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工及びブックレビューコミュニティサイトの運営等を行っております。

2. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,344,130	2,754,771
「その他」の区分の損失	△124,370	△114,546
セグメント間取引消去	55,547	135,784
全社費用（注）	△2,158,759	△2,162,269
連結財務諸表の営業利益	116,547	613,740

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	32,387,218	30,830,243
「その他」の区分の資産	827,065	720,024
その他調整額（注）1	△266,333	△184,533
全社資産（注）2	18,099,380	16,522,766
連結財務諸表の資産合計	51,047,330	47,888,501

(注) 1. その他調整額の主なものは、本社管理部門に対する債権債務の相殺消去額及び未実現利益の消去額であります。

2. 全社資産の主なものは、連結財務諸表提出会社及び連結子会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）等であります。

（単位：千円）

減価償却費	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,986,465	1,745,461
「その他」の区分の資産	7,201	6,314
全社資産（注）	39,897	56,210
連結財務諸表の減価償却費合計	2,033,564	1,807,986

(注) 全社資産の主なものは、システム関連資産の減価償却費等であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	ハグオール 事業	計				
減損損失	558,365	17,983	54,940	631,288	20,392	651,680	△1,325	650,355

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	ハグオール 事業	計				
減損損失	462,762	78,100	464,376	1,005,239	97,037	1,102,276	1,294	1,103,570

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	ハグオール 事業	計				
当期償却額	98,441	—	—	98,441	7,590	106,032	—	106,032
当期末残高	184,952	—	—	184,952	83,495	268,447	—	268,447

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	ハグオール 事業	計				
当期償却額	80,415	—	—	80,415	7,590	88,005	—	88,005
当期末残高	138,218	—	—	138,218	—	138,218	—	138,218

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

当連結会計年度において、重要な負ののれん発生益の計上はありません。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

当連結会計年度において、「リユース店舗事業」セグメントで棚マナスを取得したことにより、負ののれん発生益を20,476千円計上いたしました。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
1株当たり純資産額	693円15銭	640円77銭
1株当たり当期純損失金額（△）	△56円41銭	△43円31銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
1株当たり当期純損失金額（△）		
親会社株主に帰属する当期純損失金額（△）（千円）	△1,159,113	△889,974
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額（△）（千円）	△1,159,113	△889,974
普通株式の期中平均株式数（千株）	20,547	20,547
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	ブックオフコーポレーション(株)第1回無担保転換社債型新株予約権付社債（券面総額7,700,000千円）。	

（重要な後発事象）

該当事項はありません。